

平成29年第1回定例会（5月11日、12日）
予算及び付託議案審査関係資料

平成29年5月11日
企画振興部

【予算関係】

総合政策課	読書活動推進パートナー支援事業について（新規）	・・・1
〃	「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」策定事業について（新規）	・・・2
情報企画課	地域情報格差解消事業について	・・・4

読書活動推進パートナー支援事業について（新規）

総合政策課

1 事業の目的

企業版ふるさと納税制度を活用し、民間団体等が地域の図書館と連携しつつ取り組む図書コーナーの設置を支援することにより、身近な読書環境の向上を図る。

2 事業内容

施設内に図書コーナーを設置するなど、住民が気軽に読書に親しめる場を設置する団体等（読書活動推進パートナー）に対して、書庫購入費等を助成する市町村を支援する。

- (1) 補助対象 市町村
- (2) 補助率 県10/10
- (3) 上限額 1市町村当たり150千円
- (4) 対象経費 図書コーナーの設置（書庫購入等）に要する経費

3 予算額

900千円（ \oplus 200千円、 \ominus 700千円）

\oplus ：企業版ふるさと納税寄附金

〔 負担金補助及び交付金 900千円 〕

【 参 考 】

○企業版ふるさと納税制度（地方創生応援税制）について

民間企業が地方創生の取組を応援する税制度であり、県外に本社のある企業が地方公共団体の地方創生のプロジェクトに対して寄附をした場合、現行の損金算入による軽減効果（約3割）に加え、新たに寄附額の3割が税額控除される。

（寄附金額の下限100千円）

「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」策定事業について（新規）

総合政策課

1 事業の目的

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の推進期間が本年度で終了することから、人口減少の克服をはじめとする重要課題の解決に向けて戦略的に取り組み、元気な秋田づくりを進めるための指針として、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」（以下「第3期プラン」という。）を策定する。

2 第3期プランの概要

（1）位置付け

「人口減少の克服」を最重要課題とし、これまでの成果を土台としつつ、知事マニフェストの重点政策を踏まえた県政の運営指針とする。

（2）期間

平成30年度から33年度までの4年間

（3）構成案

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 時代の潮流 | ② 現状と課題 |
| ③ 目指すべき秋田の姿 | ④ 基本目標 |
| ⑤ 基本目標の達成に向けた重点戦略 | ⑥ 重点戦略を支える取組（施策等） |

3 事業内容

（1）総合政策審議会専門部会運営費

第3期プランの策定に当たり、重点戦略ごとに専門部会を設置し、専門的な見地から施策や取組の方向性等について審議を行う。

- ① 専門部会 6部会
- ② 人数 各部会7名
- ③ 開催回数 各部会4回（うち、3回開催分は当初予算で計上済み）

（2）県民等との意見交換会事業

- ① 知事と県民の意見交換会
各地域振興局ごとに、地域が抱える課題、秋田の将来等について、県民と意見交換を行う。
- ② 知事と県外有識者の意見交換会
第3期プランの重点戦略に関係する分野において、高い知見を有する県外有識者と意見交換を行う。
- ③ 骨子案の説明会
第3期プランの骨子案について、県民や県人会等への説明会を開催し、広く意見を聴取する。

（3）新プランPR事業

第3期プランの普及啓発用冊子及び概要版を作成し、幅広く周知する。

4 予算額

4, 6 1 5 千円 (⊖ 4, 6 1 5 千円)

(1) 総合政策審議会専門部会運営費 7 4 6 千円

〔	報酬	4 2 0 千円	〕
	旅費、使用料等	3 2 6 千円	

(2) 県民等との意見交換会事業 2, 4 7 5 千円

〔	報償費	1, 0 0 0 千円	〕
	旅費、使用料等	1, 4 7 5 千円	

(3) 新プランPR事業 1, 3 9 4 千円

〔	需用費、役務費等	1, 3 9 4 千円	〕
---	----------	-------------	---

5 策定スケジュール (案)

平成 2 9 年 6 月	<u>6 月議会において第 3 期プラン (方向性) 報告</u>
7 月・8 月	知事と県民の意見交換会
7 月～10 月	総合政策審議会及び専門部会
8 月	知事と県外有識者の意見交換会
9 月	<u>9 月議会において第 3 期プラン (骨子案) 報告</u>
10 月	骨子案に関する県民、県人会への説明会
12 月	<u>1 2 月議会において第 3 期プラン (素案) 報告</u>
12 月	パブリックコメント
平成 3 0 年 2 月	<u>2 月議会において第 3 期プラン (案) 報告</u>
3 月	第 3 期プラン策定・公表

地域情報格差解消事業について

情報企画課

1 事業の目的

地域間の情報通信格差を解消するため、市町村が行う情報通信基盤施設の整備に対し助成する。

2 事業内容

(1) 補助対象 市町村

(2) 対象経費 ラジオ放送中継施設整備に要する経費

(国庫補助対象)

国（民放ラジオ難聴解消支援事業）	市町村	
20/30（地理的・地形的難聴解消）	県3/30	7/30

3 予算額

5,913千円（ \ominus 5,913千円）

〔 負担金補助及び交付金 5,913千円 〕

【対象事業の内訳】

市町村	地区	放送事業者	世帯数	事業費	（千円）		
					国補助	市町村負担	県負担
羽後町	田代・仙道	F M秋田	792	59,137	39,424	13,800	5,913